

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年2月7日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年2月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【フレキシブル電線管からの発煙について】 ろ過水・純水設備の排水処理装置増強工事において、増設ろ過原水移送ポンプ近傍でフランジ溶接作業を実施していたところ、溶接部付近のフレキシブル電線管より発煙を確認。 フレキシブル電線管は損傷しているものの延焼の恐れが無いこと、消火活動を実施していないことから消防署により火災でないと判断。 溶接作業により生じた迷走電流の一つがフレキシブル電線管の金属部分を經由したため、金属部分が発熱し表面の被膜が損傷したものと推定。 今後、対策を検討する。</p>	G II	2月5日